



シルバー所沢

第101号  
2008年1月25日

# つどいの樹

発行：社団法人所沢市シルバー人材センター 編集/広報部会  
〒359-1143 所沢市宮本町1-1-2  
☎ 04-2928-8695/FAX 04-2924-0630  
ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>

▼もくじ▲

- 1頁 新春特集・干支生まれの座談会
- 2頁 理事長挨拶他
- 3頁 干支生まれの会員から
- 4～5頁 座談会(ゴミニ、エコ、もったいない、昔の知恵を活かせ)
- 6頁 理事会報告、会員安全就業推進委員会、就業適正委員会
- 7頁 職場訪問記、薄学駄話
- 8頁 川柳に挑む、地区だより
- 9頁 悠和会だより、芋煮会
- 10頁 豆宣伝、お知らせ、あとがき



この号より、表題の『ところざわ』が『つどいの樹』に変わりました。



新春 子年生まれの座談会  
4～5頁

昔の生活 今の生活  
ご飯、エコ、もったいない

1 豚  
2 子  
3 鼠

# 新年のごあいさつ

理事長 秋山 脩



新年明けまして  
おめでとうございます。

会員の皆様をはじめ、シルバー事業に関連されます各位には健やかな新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

皆様の力強いご支援とご協力によりまして、事業運営も順調に推移しておりますことも重ねて感謝申し上げます。

昨年、心配されておりました団塊世代の定年退職の対応につきましても、緩やかな会員の増加でございました。

新たな平成20年を迎え、今年も当センターとして記念すべき創立30周年を迎えることが出来ましたことも、偏に会員諸氏と、関係する皆様の方からのご尽力の賜でございます。



て、全国にも誇れる規模のシルバー人材センターとして成長いたしました。

現在、5年、10年後を見据えた中、長期計画を策定中でございます。

今後様々な課題に取り組み、急速に進む高齢者社会で大きな役割を果たす所存でございます。

一例を申し上げますと、今後、会員数を五〇〇名増強し二六〇〇名体制とし、加えて就業機会の確保を積極的に推進してまいりますのでご支援ご協力をお願いいたします。

皆様にとりまして、今年も輝かしい希望に満ちた年でありますことを心からお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

## 創立30周年記念行事

### 実行委員会より「2」

今秋、創立30周年を迎えるにあたり、同実行委員会が昨年3月より20名のメンバーで発足いたしております。実行委員長は田中文雄氏「記念式典・祝賀会」「記念誌」「イベント」の三分科会を構成、それぞれで企画検討を進めております。

実施予定の企画は次の通りです。

#### ◎「記念式典・祝賀会」

実施日 10月15日(水)午後1時～6時

会場 くすのきホール

第一部・樋口恵子氏の記念講演、

第二部・式典、第三部・祝賀会

#### ◎「イベント」

「会員作品展」10月7日～11日

「ボウリング大会」10月6日

「清掃ボランティア」5月と10月

頃、市内3地域を予定

#### ◎「記念誌」

30箇所の職場の仲間達、こぼれ話、

悠和会の活動、などの各頁を企画、

投稿文・写真を募集中です。

ふるってご応募ください！

## 頌春

### 役員紹介

役職名	氏名
顧問	当摩好子
理事長	秋山脩
副理事長	田中文雄
専務理事	小林辰
理事	森田勝治
理事	山口博
理事	五社よし子
理事	押切辰弥
理事	九鬼春雄
理事	村上和枝
理事	橋本英世
理事	前田元
理事	大坂秀吉
理事	山内康子
理事	貫井弘久
理事	小檜山正幸
理事	小野民夫
理事	鏡川論
理事	粕川博
理事	大野勉



### 子年生まれの会員の方から

#### 海釣りの楽しみ

中央地区 84歳 廣田久隆



釣り好きの友人から誘われて海釣りに行きだしたのは、今から7、8年前になろうか。初めのうちは、房総方面が主で船宿に一泊して楽しんだものだった。

同行の仲間のうち私が一番年長だったが、海釣りは初心者で道具をそろえ使い方を教えてもらいなから、楽しみが一つふえたことでそのつど喜び勇んで出かけた。今では道具もそろい竿だけでも数種類あり、ルールも電動のもの、手動のものなど一人前に・・・

ここ数年は平塚港が主で月に一度のペースで出かけている。午前3時頃には自宅を出て、友人の車で目的地に向かう。時期によっては鱈、鯖のときもあるが最近はいサキ、イナ

ダの時期で11月中旬にはイナダ3センチから40センチ位のものを7、8尾。まずまずの釣果をあげて楽しい一日を過ごしてきた。

このぐらいのものになると引きが強く手ごたえがある。釣っている時は夢中で船べりに、立ちっぱなしのため翌日には足腰の疲れを感じる。"トシ"かな、と思う。(今年は七回目の子年を迎えた)それでも若い人には負けないように体力の続くかぎり趣味を楽しみたいと思っている。家内からは「トシを考えなさい」と言われながら・・・

#### スポーツと私

吾妻地区 72歳 柴田昌子



学生の頃よりバレーボール部に入りバレーボールづけの毎日、父親には「学校に何をしに行っているのか?」などいわれながら学業はそこで、充実した学生生活を満喫しました。

下の娘が小学校にはいり、時間の余裕ができたのでママさんバレーを始め週2回の夜間練習はイケメンコーチのもと、胸をときめかせながらの心地よい汗を流しました。土曜日はメンバ―と体育館近くの赤提灯でビールの乾杯、そのおいしかったこと忘れられません。気がつくくと15

年近くプレーをしていましたが、運動能力、体力の衰えを感じ退部しました。その後しばらく気が抜け、さびしい日々が過ぎてゆきましたが、シルバー人材センターの会員になってシルバーボウリング愛好会に入会し、楽しい仲間も大勢できました。

今は夫婦でボウリングの生活?をしています。最近絶不調でやめようかと悩み、主人に叱られたり、激励?されたり一喜一憂の今日この頃です。でもプレーできる健康に感謝し、これからも努力しながら、一日でも長く続けていきたいと思っています。



牡丹菊 斎藤真平

#### パーフェクトを目指して

新所沢地区 72歳 齋藤 功



あけましておめでとございませす。

ボウリングは何歳からでもできる手軽なスポーツです。天候にも左右されない、何よりも楽しいのは友人ができて交流が図れることです。これからの生涯スポーツとして最適だと思います。現在世界最高齢パーフェクト達成ボウラーは、101歳でギネスに登録されているそうです。私が通うボウリング場で年に5、6名の方がパーフェクトを達成します。悠和会ボウリング部にも昨年パーフェクト達成者、近藤宗一氏ができました。達成者は表彰され1年間名前が掲示されます。私も今年は挑戦して達成したいと思っています。今年新所沢市シルバー人材センターが設立30周年になります。記念イベントとして、10月6日(月)には初心者大歓迎のボウリング大会が企画されます。楽しいボウリング大会には是非参加してみたいかがでしょうか。



ご出席 (敬称略)

- 高荒良吉、品川禪、兼松きのえ
- 齋藤真平、中沢恒夫、杉山喬敏
- 水落茂子、佐竹直茂、佐藤武夫
- 中嶋稔、糟谷尚、並木アツ子
- 永井敬久、司会・岩崎龍一

正面には「新春、子年生まれの座談会」の横断幕、その下には五葉松、牡丹菊、長寿梅と熊笹の盆栽が飾られ、新春気分。

冒頭に秋山理事長から挨拶を頂き、座談会に入りました。

司会：大正13年、昭和11年生まれ子年の方々にお集まりいただきました。会には子年の方が142名おられ内84歳の方が6名です。私たちの身近

なところから、環境問題、ゴミ、エコ、もつたない、について話し合っ  
ていきたいと思ひます。

◎ここは「ゴミ置き場」じゃない！

中沢：スーパーで働いていますが、家のゴミを「どぼつ」と持つてくる人がいて注意すると「買ったものでしょ！」などと逆襲されてしまう。

糟谷：月3回公園の掃除をしています。狭山湖の駐車場のトイレにゴミの入ったビニール袋を持ち込む人が絶えません。

杉山：マンションの管理をしている。外部の人が車で捨てる、大きい袋にいろんなゴミが入っていて、片付けに時間がかかります。素早く捨てるので注意できません。



◎皆がルールを守れば

兼松：ペットボトルなどはラベルを剥がして潰せばかさ張らないし、皆がルールを守れば楽しく生活できるのに。

佐竹：駅の階段に空き缶が置いてあると、おられる際は缶が見えないので非常に危険。横断歩道の欄干の上に缶が置いてあったりするので、自宅に持ち帰って処分している。

佐竹：我々の青春時代は欲しがりません勝つまではでしたが、今は飽食の時代です。これは我々が目的としてきたことなのです。求めたものと、叶えられた物には裏と表があり、その調整が難しいですね。

通りすがりにゴミを置いてゆく人もいます。夫々の家庭での躰が出来ていません。

田中：家庭での躰から始めなければなりません、子は親を、親は子を危める時代、怖くて注意もできない。

糟谷：注意すると「こういう時代にしたのはあなたの方の年代の人達のせいではないですか？」と言われます。できるだけ相手を見ながら注意することですね。公園の砂場にある猫の糞も困ります。全体が乱れていますね。

◎分別はお任せ！



品川：ゴミ分別に関心が出てきたのは、退職後のことです。家の中でゴミを置く場所を決めて、ルール化し

ているので、孫達もプラスチック、燃えるゴミ、などと分けています。近くの山林に弁当などを捨てるのは、誰なのだろう、なぜ捨てるのだろうと考えます。

永井：自治会では生ゴミを集めポリバケツに入れて肥料にしています。生ゴミの軽減に役立ちます。



◎放置ゴミを減らすには

品川：自治会、町内会の行事では終わったあとに小さいポリ袋を渡し、ゴミを自宅に持ち帰るようにしているが、良いことだと思ひ。

私はこのように買い物袋をいつも携帯しています。ポリ袋を完全になくしてしまつたらどうなるか。  
志賀：昔は買い物籠を持参していました。ポリ袋でゴミを出してはいけませんと決めてはどうでしょうか。

◎「ゴミは宝の山

兼松：ゴミはお金になります。自治会でダンボール、新聞、雑誌、ビン缶をまとめ、市から資源回収報奨金を頂いています。ゴミを資源として

見直し、ゴミの有効利用の方法を考  
えてください。

**永井**：古紙回収業者に引き取っても  
らい代金が自治会に入り、年末の募  
金にしています。

**中嶋**：生ゴミはEM菌で土に返し、  
肥料にしていますので殆ど出しませ  
ん。外国には「もったいない」とい  
うことは無いらしいですが、いい  
ことばです。

**佐藤**：生ゴミ  
はすべて畑の  
栄養にしてい  
ます。



佐藤 齋藤

**並木**：お茶ガラは庭木に、野菜のく  
ずは野菜スープに変身させ、生ゴミ  
を出さないようにしています。

**品川**：息子は子どもの頃、ポリ袋を  
もって公園に行きゴミを入、自宅に  
持ち帰りました。躰として孫にも指  
導しています。自分でできることは  
自分でやるようにしています。

**田中**：昔の話を子どもや孫にする  
と、「そういう時代に生きてかわい  
そうね、おじいちゃんは！」と言わ  
れてしまう。食べるものが無かった  
時代は、残さないようにだいたい  
いただいた。兄弟が多かったので少な

い食べ物を競争して食べていま  
した。

### ④水、電気を大切に

**兼松**：昭和10年頃に水道が敷設さ  
れ、栓を捻ると水が出ることに感動  
しました。それまで水は町内のタン  
クに入っていて、小学生の夏、空っ  
ぽになったタンクの蛇口からたらた  
らと落ちてくる水を待つていたこと  
があります。朝の歯磨きでは、コッ  
プに水を溜め、水道はすぐに止めま  
す。今の人は水の尊さを知らないで  
すね。

**中嶋**：昔は南住吉では水がなかつ  
た、1週間に1回は500m先から桶で  
水を汲んでいた、水は足りなかった。  
**糟谷**：風呂水は3日に1回入れ替  
え、水は庭木に、洗濯に使用してい  
ます。

**品川**：物資の少ない時代を経験しま  
した。子年らしく、細かく、節電し  
ています。女房を怒鳴ることもあり  
ます。コンセントを  
抜いたり、最後に電  
気を消します。

**杉山**：電気、換気扇  
をこまめに消しま  
す、「何で消した！」  
と怒られながら。



杉山 水落

### ⑤着るものが無かった時代

**杉山**：着るものもなく、配給制だつ  
たので、2組くらいの学生服や靴は  
学校の抽選で当たるのです。

**杉山**：着るものがたまり過ぎるとど  
うしようもないです。

**小島**：洋服の再生を心がけていま  
す。ボタンを付け替えたり、肩パツ  
トを少し狭くしてみたりするだけ  
とても雰囲気が変わります。

**永井**：衣類が捨てられない、30、40  
歳代に着たものがあり、家内から捨  
てなさいといわれるができない。

**中沢**：7人家族、若い者が一日置き  
にどんどん買ってくる。1部屋が使  
えない状況です。

**佐竹**：都市再生機構  
住宅を手がけたが、  
転居の際に部屋が狭  
いので古着を処分す  
るように勧めたがで  
きない、1部屋をア  
ルバム、古着などで  
いっぱいになっている  
のをよく見かけまし  
た。2、3年着ない  
ものは捨てましょ  
う。部屋を有効利用できないことが  
もったいないと思います。



中嶋 佐竹 永井

**水落**：引き出物、お返しがたまって  
しまい困ります。そろそろ整理をし  
なくてはと思つていますが捨てられ  
ません。やらねばなりませんので、  
悩んでいます。

### ⑥ファッション？もったいない？

**田中**：若者の破れズボン、あれは  
もったいないからなのか、ファッシ  
ョンなのか。だんだんおかしい時代  
になりましたね。歩くのも上をみて  
飛び降りる人がいないか注意してい  
なければならぬのです。

モラルの低下、誰も悪くないのか、  
時代の流れなのか、どういう風に立  
て直すのか・・・

悩まないで楽しみたいですね。高  
齢者はストレスをためない、気楽に  
考えて一人ひとりが注意してゆけば  
よいと思います。

**司会**：昔の知恵を活かせばいくらで  
も方法はあるのですね、出席者の皆  
様からいろいろお聞かせ頂き、やは  
り若い人や子供たちに伝承するのも  
我々シルバーの役目ではないかと痛  
感した次第です。

# 理事会報告

平成 19 年度 (6 回) 理事会 平成 19. 9.28(金)

- 審議事項 1. 正会員として入会を求める件について  
新入会員登録者21人、退会者5人\*承認
- 報告事項 1. 各部会・委員会活動状況について  
事業部会より、会員就業先訪問実施について説明報告

平成 19 年度 (7 回) 理事会 平成 19.10.31(水)

- 審議事項 1. 平成19年度上半期事業報告について  
平成19年度上半期監査報告
- 2. 正会員として入会を求める件について  
新入会員登録者19人、退会者9人\*承認
- 報告事項 1. 各部会・委員会活動状況について  
1)悠和会より市民フェスティバルの参加活動が報告された。

平成 19 年度 (8 回) 理事会 平成 19.11.30(金)

- 審議事項 1. 正会員として入会を求める件について  
新入会員登録者33人、退会者29人\*承認
- 2. 会計関係書類処分の承認を求める件について  
\*提案理由…財務規程に基づいて処分する  
ものであります。
- 報告事項 1. 各部会・委員会活動状況について  
1)30周年記念実行委員会より、記念行事開催要項報告  
2)広報部会よりシルバーだより表題公募に関する結果報告

登録会員動向	男	女	計
平成19. 8.31日現在	1,484人	607人	2091人
平成19.11.30日現在	1,504人	617人	2121人
賛助会員	0人	1人	1人

## —安全研修会開催のお知らせ—

2月14日にセンター4階で【安全研修会】を開催します。  
詳細は折り込みの「安全推進ニュース3号」をご参照下さい。  
\*シルバー ドライバー・ドック  
受講を希望される方はセンター事務局へご連絡下さい。  
2928-8695 安全担当 福田まで

年齢と健康を見据えて、  
安全な就業を致しましょう。

### ▼就業適正委員会より

委員長 前田 元

所沢市シルバー人材センターでは、安全就業の持続のため、会員の年齢と健康を考慮して、就業年齢制限75歳（自動車運転業務70歳）という基準を設けています。

この事は75歳になった会員は76歳以上でも就業可能と思われる仕事に移行していただきますと云うものです。

従って、基準の対象となる会員は新しい仕事についてセンターとよく相談して頂き、スムーズに移行されますようお願いいたします。

就業適正委員会は、要綱に基づく安全就業の継続に向けて努力してまいります。

### ◆就業基準に関する要綱の抜粋 (就業年齢制限)

第7条 就業年齢制限設定の職種は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 自動車運転業務 70歳
- (2) その他の業務 75歳

(3) 上記の年齢基準を超える会員は毎年4月1日と10月1日を基準として、就業適正委員会において健康及び業務状況を考慮して、安全就業の適否について確認、相談を行います。

## 会員安全就業推進委員会

### 当SCにおける事故発生件数

ここ2年間は減少傾向にありますが、19年度の入院傷害は12月15日現在で3件発生しており、延べ入院日数は179日です。



シルバーにとっては、ケガをしないで楽しく働き、生き生きとシルバー人生を送ることが望みです。会員の方が、就業中やその途上で傷害を受けたり、あるいは他の誰かを傷つけたりするようなことがあれば、本人や家族を不幸にするばかりでなく、同僚の会員に迷惑をかけ、ひいてはセンターの運営にも支障をきたすことになりかねません。今後とも一層、安全就業にご留意下さい。

なお、20年度、当委員会では、「入院傷害ゼロ運動」を展開します。4月1日よりセンター事務局にボードを設置し、ゼロ日数のカウントを開始する予定です。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

おじやましまーす

## 職場訪問記

(42)

## ▼リングアンドリンク

『リングアンドリンク (Ring and Link)』という会社をご存知ですか? ・このシンプルな名前になぜか新しさ、楽しさを感じたのです。

会員の岩崎さんに案内していただいたその会社は、所沢市松郷の表通りから少し奥に入った松郷工業団地の中の一角にありました。

社内は精密製品事業部とソフト事業部に分かれ、今回はソフト事業部の営業課にお邪魔しました。ソフト事業部の営業課には「営業グループ」と、ITサポート、CSソフト制作で構成された「CSグループ」の2つのグループがあります。対応くださったCSソフト制作責任者の高橋さんは、スラリとした長身の極めて好感度の高い若い男性で、会社や仕事の内容などを丁寧に説明してくださいました。ソフト事業部のスタッフは約35名、平均年齢が30代前半というから、午後の陽ざしの差し込む明るい部屋には若さがみなぎって

ました。それに、出てくる言葉がソフトウェア、CD-ROM、WEB、リモートサポート等々、シルバー世代の私は目を白黒させながら、これこそ若い人たちの職場なのだと感じました。

話が前後してしまいましたが、この会社は昭和40年に機械加工部品メーカーとして設立され、「もの作り」を基本に製品装置や検査装置など大手メーカーの依頼によるオーダーメイドのシステム開発メーカーとして着実に成長を続けてきました。その後、「もの作り」で培ったノウハウを応用し、開発、営業、お客様サポートセンターと一体化したソフト事業部が設立され、着実な発展を続けているそうです。

ソフト事業部では、主に不動産営業支援システムの開発とサポートが好調とか。会員の小倉さんと岩崎さんの仕事は、資料や商品の発送作業をはじめ、白いCD-ROMの盤面へ印刷やデータのコピーをしたりパソコンでデータの整理と打ち込み、書類の分類など幅広くお手伝いしているそうです。

小倉さんは「何しろ、周りがみな若いのは気持ちのいいものです」と

せつせと手を動かしていました。

高橋さんは「シルバーの方は、これまでの経験と知識から、若い人が気がつかない部分までフォローしてもらえ、3の仕事を手を5にしてくださいるのでとても助かります」といつてくださいました。

高橋さんの誠実な対応、働いているスタッフさんたちの真剣な表情、お世話をしてくださった高木さんをはじめ、女性社員の方達の「ソフトで謙虚な態度」に感謝しつつ、日ごろ日本の将来に不安を感じがちだった私にとって、今の若い人たちの力に希望を持つことができた一日でした。

(中村記)

はくがくだわー  
薄学駄話

『あんばい』

お料理の味加減を見るとき「うまいあんばいにできた」などといいます。また「お体のあんばいはいかがですか」などと「あんばい」という言葉は私たちの日常の会話によく出てきます。さて、この「あんばい」にはどんな語源があるのでしょうか。

実は「えんばい」と言うのが正しいのだそうで、「えんばい」は「塩梅」と書き、昔お吸い物や調味料に「塩」と「梅酢」を用いたところから言われたとされています。つまり塩と梅酢の用い方によって吸い物や汁の「オイシイ、マズイ」が決まるわけです。それを「塩梅がよい」と書いたものが、いつしか「えんばい」を訛って「あんばい」と言うようになり、さらにその使い方も単にお料理のみに限らず(一般にもオリアイ・ホドアイ)というような意味で広く用いられるようになったのだと思います。

ともあれ物事すべて、この「あんばい」ということが大切になっていくようです

(田中記)

老人閑居して川柳に挑む

福岡地区 久野忠夫

近親者に川柳の先生がいて、私も下手の横好きも手伝って、ボケ防止と美しい日本語の継承を5・7・5の17音字にまとめる川柳に、何年か前から親しんでいます。

しかし、川柳は奥深く、17音字に凝縮された人間の感性の集大成があるような感じさせします。

毎月川柳句集を読んでいます。どの句にも感心するような表現はありますが、本当に心を揺さぶられるような句やなるほどと余韻の残る句にはなかなかお目にかからないものだと思います。初心の私にはどうしても、どこかの宣伝広告や標語になりがちなのです。

川柳の本質は風刺、滑稽、穿ちの三要素から成りたっていて、このうちどれ一つ欠けていても本物の川柳とは言いがたく、いわゆる川柳まがいと言うのだそうです。

この三要素のうち穿ちについてはなかなか理解できません。その、穿ちこそが川柳の本質であって、川柳の味であり、料理であれば隠し味の部類で、この味がないと単なる凡句

になってしまふようです。一般的には人情の機微、世相の有様など微妙な点を表すと言います。これが文芸川柳の真髄であり、第三者に本音が伝わらなくは、折角の川柳の意味がなく、文芸川柳のカテゴリーに入らないと言うことでしょう。

やれやれどうも日暮れて猶道遠く、その巨大な山裾までなかなか辿りつきませぬなあ。では近詠拙吟で失礼。

古希祝う糟糠の妻千鳥足

薄茶けた蟻螂あわれ日当ぼこ

菓箱にも雨傘かけて野鳥まつ

息災で五臓六腑にしみる屠蘇

屠蘇の膳囲む新顔一つ増え

投稿へ元の肩書書く未練

河口まで苦労重ねた丸い石

熟れてなお孫の来るまで待つメロン

拙句失礼。

地区班長会議を参観

中央地区・地区委員の陸浦さんから

「班長会議をするので会議を参観してみたら如何ですか」とのお誘いを受け、参観させていただきました。

11月のさわやかに晴れ渡った日、10時すぎ、会場の華屋与兵衛ではすでに会議が始まっております。

冒頭に、20年の地区懇談会の開催について協力のお願があり、それに伴って班長活動での情報、要望、苦労等の意見交換を行う旨の挨拶がありました。

挨拶の後、促されることも無くすぐに活発な意見が飛び交いました。懇談会について

懇談会について

\* 昨年は懇談会の席を班ごと設けたので和気藹々と話が出来た。

\* 班長は出席する方がよい。

\* 遠くて来られない方もいるので地区懇談会の開催場所を時々変えるのもっと参加しやすくなるのでは。

\* 地区全体ではなく小分けにして開催しても良いのではないか。等々。

班長の活動について会費の集金

\* 伺う前に電話が必要。

\* 働いている方への集金は夜遅くなる必要がある。

\* 留守で会えない方がいる。

\* 「仕事してもらえないのに会費を払うのか」と文句をいわれたりする。

\* 集金に行ったがために、退会の申し出に会おうと自分が何か悪いことをしたか、とストレスを感じることもある。

\* 会費が六〇〇円から一二〇〇円になつて文句が出た。

\* 悠和会の費用300円は何故払わねばならないのかと聞かれたりする。

\* 口座引落としはダメなのか？等々。今後を見据えて

\* 仕事は与えられるのではなく、自分から事務局へ行つて探す努力も必要と思う。

\* 仕事に就いても直ぐ辞めてしまうなど、開拓員のご苦労を会員も考える必要がある。

\* 仕事は短時間にしてローテーション方式の方が良いのではないか。

\* 配分金の手紙、他SCから出される案内状などは会員に配達させて仕事を作つたら如何なものか？等々と。

余すことなく時間一杯に話が盛り上がり、最後に来年の懇談会を有意義な会合にするようにしてくださいとの挨拶で締めくくられました。

皆さん本当に所沢シルバの会員であることを大切に思っているのだと痛感しました。(志賀記)



皆さん本当に所沢シルバの会員であることを大切に思っているのだと痛感しました。(志賀記)

# 悠和会たより



実演  
障子張り

## 市民フェスティバルに参加して

松井地区 大矢公一

10月28日、晴天にめぐまれカラオケサークルのメンバー7名と、市民フェスティバルの一環である「楽しい街角唄のフェスティバル」に参加させていただきました。

塩田リーダーのもと、日頃練習した成果を各自発揮できた事と思います。上手下手は別として、シルバーカラオケが市のフェスティバルに参加できた事に意義を感じています。

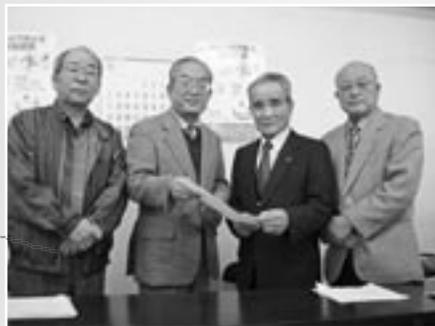
そして会場で渡邊会長や働く仲間とも顔を合わせることができ、有意義な一日でした。関係者の皆様によりお礼申し上げます。

## 「悠和会」支援を要望

悠和会事務局より

このほど、悠和会の渡邊会長は秋山理事長、田中・小林副理事長の三役に対する活動支援の要望を申し出ました。

この要望は、悠和会の事業活動を更に前進するために支援を求めたものです。



秋山理事長からは「可能な範囲で協力したい」との回答をいただきました。

(吉松記)

## 芋煮会(婦人部)

吉松直子

今日は心待ちにしていた婦人部主催の芋煮会の日です。

気になるお天気は予報通りで朝より小雨が降り始め、早速テントを用意し、幟旗も立てて賑やかに始まりました。



始の12時には、見る見るうちに長い列ができて、接待する婦人部は一生懸命です。

曇り空の寒さの中であつあつの美味しい芋煮を食べる人たち。中には「無料でいただけるの?」「今日のように寒い時は本当に美味しい」と喜ばれる姿に大満足でした。用意した200食は完了。こうして忙しくも楽しかった第二回目の芋煮会も無事故で終わり、来年もまたガンバルゾーとの思いでした。

最後に、無償で野菜等を提供し応援していただいた会員の皆様に、婦人部一同感謝申し上げます。

## 夢にみた12年目の快挙



「悠和会」ボウリングサークルでは例会を月1回開催しておりますが、昨年8月29日に、会員の近藤宗一さんが《パーフェクト》を達成、95年以来夢に見ていた12年目の快挙でした。おめでとうございました。

会は昨年12月、100回を迎えました。

(小島記)

## 《シルバー豆宣伝》

- ★シルバー人材センターとは・・・すでに勤めをやめた方や家業を後継者に譲られた方などで、健康のため、生きがいのため、何か仕事をしたいという高齢者の皆さんが集まって、民間企業や一般家庭、行政機関等から高齢者に向いている仕事を引き受けて働こうという団体です。
- ★働くと言っても、生活をしていくための収入を得るためではなく、技術や経験を生かしながら働く事によって、高齢者の生きがいを高め、健康な日々を過ごしていただくと同時に、地域社会の発展に貢献してもらおうというものです。
- ★シルバー人材センターは単なる同好者のグループではなく、公共的な性格を持つ社団法人で、営利を目的としません。

**こんな仕事をしています**  
 ・看板(レタリング)、毛筆、筆耕など  
 ・一般事務、経理事務  
 ・福祉・家事援助サービス  
 ・屋外の簡易な作業  
 ・室内作業  
 ・簡単な大工仕事、修理修繕  
 ・その他  
 ＊高齢者に出来る仕事であれば是非ご相談ください。

### ※シニアワークプログラム(SP)

SPにも積極的に取り組んでいます。  
 SPとは、厚生労働省の委託を受け、60歳代前半の高齢者を中心に雇用・就業機会の確保を目的に支援を行う事業です。  
 平成19年度は、①簿記講座②医療事務講座③植木剪定講座④看護師講座を実施しております。

### 取材を受けました!!

このほど、「月刊シルバー人材センター」編集部から、当センターの悠和会やサークル活動の取り組み方などについて取材を受けました。

悠和会々々長・渡邊光信、歌の会『ひまわり』・澤口富保さわか体操・小島美代子、センター・森田事務局長で対応いたしました。

センターの事業は元気で働く場である一方、会員相互の融和親睦を図り、会員の福利厚生強化を求める組織として悠和会が結成されていますが、これらの趣旨をはじめ、各サークルの活動や課題、会員作品展等についての経過や苦話など和気あいあいのうちに取材に伴う座談会が行われました。この座談会記事は平成20年1月号に掲載されました。

(小島記)

### お知らせ

#### ★健康相談日

2月21日(木) 午後  
 3月17日(月) 午後  
 4月17日(木) 午後

#### ★就業相談日

毎週水曜日  
 (午後1時～3時)

＊就業相談を実施しています。  
 未就業会員の方は是非、  
 ご相談ください。

### あとがき

本誌の表題改名に多くのご応募いただき、ありがとうございます。  
 今号より表題が「つどいの樹」に変わりました。

命名の意味は「会員一人一人がシルバーに集い、力を合わせることで大樹を成す」とのことです。

選考の結果、柳瀬地区の前村様・三富達也様の両名です。おめでとうございます。

広報部では、今後も内容の工夫、親しみやすい誌面作りを期待に添うよう心掛けていきます。

当シルバー広報誌を引き続き、ご愛読くださいますようお願いいたします。

#### ■会員の寄稿を募集しています。

センター内第一会議室入口左側に「ご意見箱」を設置しておりますので、会員からのご意見・要望等を募っています。センターにも反映できるように活用したいと考えています。

また、体験談・苦労話や面白い話、俳句・短歌・詩・川柳、挿絵、その他、皆様からの積極的なご寄稿をお待ちしています。

(岩崎)